ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

# 平成24年３月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年１月30日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上場会社名 | 株式会社プロネクサス | | 上場取引所　東 |
| コード番号 | 7893 | | ＵＲＬ　http://www.pronexus.co.jp |
| 代表者 | （役職名）代表取締役社長 | （氏名）上野　剛史 | |
| 問合せ先責任者 | （役職名）取締役執行役員 社長室長 | （氏名）大和田　雅博 | ＴＥＬ　03-5777-3111 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成24年２月９日 | | 配当支払開始予定日　－ |

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

## １．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年３月期第３四半期 | 14,602 | △6.7 | 2,087 | 16.3 | 2,075 | 15.5 | 1,301 | 45.7 |
| 23年３月期第３四半期 | 15,653 | △2.4 | 1,794 | △28.7 | 1,795 | △27.2 | 893 | △40.1 |

（注）　包括利益　24年３月期第３四半期　1,309百万円　(48.5%)　23年３月期第３四半期　881百万円　(－%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年３月期第３四半期 | 36.73 | － |
| 23年３月期第３四半期 | 25.21 | － |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年３月期第３四半期 | 28,032 | 22,144 | 78.5 |
| 23年３月期 | 27,353 | 21,473 | 78.1 |

（参考）自己資本　24年３月期第３四半期　22,017百万円　23年３月期　21,368百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年３月期 | － | 12.00 | － | 10.00 | 22.00 |
| 24年３月期 | － | 8.00 | － | | |
| 24年３月期（予想） | | | | 8.00 | 16.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

## ３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,000 | △5.3 | 1,750 | 23.7 | 1,700 | 26.1 | 1,050 | 57.1 | 29.63 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

業績予想の修正については、本日（平成24年１月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年３月期３Ｑ | 39,327,700株 | 23年３月期 | 39,327,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年３月期３Ｑ | 3,886,061株 | 23年３月期 | 3,885,917株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年３月期３Ｑ | 35,441,760株 | 23年３月期３Ｑ | 35,441,834株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。また、第２四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配布した資料、説明内容(音声)を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 4
２．四半期連結財務諸表 …… P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… P. 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 9

# １．当四半期決算に関する定性的情報

## （１）連結経営成績に関する定性的情報

### １） わが国経済の状況

東日本大震災及び原発事故がもたらした経済的影響は、生産・流通・消費の回復が進み、着実に改善してきました。しかしながら、欧州各国の財政不安等を背景とした世界経済の低迷、歴史的な円高の進行等により、わが国経済は先行きが懸念される状況が続いています。当社事業との関連性が高い国内株式市場は、取引高・株価の低迷が続き、ＩＰＯ（新規株式公開）社数は増加に転じたものの、上場会社数の減少が続いています。

### ２） 業績の概況

当第３四半期連結累計期間（以下、当第３四半期）の連結売上高は、上場会社数の減少や競争の激化に加えて、制度改正に伴う一部法定書類のページ数減等により、前年同期比1,051百万円減（前年同期比6.7％減）の14,602百万円となりました。

一方、こうした事業環境を克服すべく、中期経営計画の重点課題として全社的に推進しているコスト削減活動が進展し、営業利益は前年同期比293百万円増（同16.3％増）の2,087百万円、経常利益は前年同期比279百万円増（同15.5％増）の2,075百万円となりました。四半期純利益は、税制改正に伴う税金費用の減少影響を含めて前年同期比408百万円増（同45.7％増）の1,301百万円となりました。

### ３） 売上の概況

#### ① 製品別販売動向

各製品別の販売動向は以下のとおりです。なお、６月10日付で公表いたしました中期経営計画2011に基づき、顧客・市場別に売上高を開示するため、第１四半期より下記のとおり製品区分を変更しております。

**＜上場会社ディスクロージャー関連＞**

上場会社数減少、競争激化および制度改正に伴う四半期報告書のページ数減等の影響により、株主総会招集通知および決算関連書類の売上が減少しました。また、証券市場の低迷の影響を受けファイナンス案件が減少しました。この結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比668百万円減（同8.5％減）の7,195百万円となりました。

**＜上場会社ＩＲ関連等＞**

上場会社数減少と競争激化の影響を受け、株主向け年次・中間報告書（株主通信）の売上が減少しましたが、各種のＩＲツールの拡販でカバーし、上場会社ＩＲ関連等の売上高は前年同期並の4,055百万円となりました。

**＜金融商品ディスクロージャー関連＞**

投資信託関連製品については、システム・Ｗｅｂサービスを含む各種ツールの受注拡大に取り組みましたが、制度改正に伴う投資信託目論見書のページ数減少等の影響により、売上が減少しました。また、ＲＥＩＴ（不動産投資信託）関連製品も市場低迷の影響を受け売上が減少しました。この結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比384百万円減（同10.8％減）の3,191百万円となりました。なお、制度改正に伴う目論見書の売上減少影響は第２四半期よりも縮小しました。

**＜データベース関連＞**

台湾におけるマーケティング活動の開始や商品企画の強化等、中期的な成長に向けての体制整備に注力しました。この結果、海外売上はまだ僅かではあるものの、既存製品の顧客拡大等が寄与してデータベース関連の売上高は前年同期比7百万円増（同5.1％増）の160百万円となりました。

（新区分による製品別売上）

６月10日付で公表いたしました中期経営計画2011に基づき、顧客・市場別に売上高を開示するため、第１四半期より下記のとおり製品区分を変更しております。前年同期分につきましても変更後の区分に組み替えて表示しております。なお、当連結会計年度につきましては、従来区分での数値を併記いたします。

| 区分 | 前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日） | | 当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日） | | 増減（△印減） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（千円） | 構成比（%） | 金額（千円） | 構成比（%） | 金額（千円） | 増減率（%） |
| 上場会社ディスクロージャー関連 | 7,864,407 | 50.2 | 7,195,721 | 49.3 | △668,685 | △8.5 |
| 上場会社ＩＲ関連等 | 4,061,014 | 25.9 | 4,055,106 | 27.8 | △5,908 | △0.1 |
| 金融商品ディスクロージャー関連 | 3,575,881 | 22.9 | 3,191,230 | 21.8 | △384,651 | △10.8 |
| データベース関連 | 152,642 | 1.0 | 160,483 | 1.1 | 7,841 | 5.1 |
| 合計 | 15,653,946 | 100.0 | 14,602,542 | 100.0 | △1,051,404 | △6.7 |

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（従来区分による製品別売上）

| 区分 | 前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日） | | 当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日） | | 増減（△印減） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（千円） | 構成比（%） | 金額（千円） | 構成比（%） | 金額（千円） | 増減率（%） |
| 会社法関連 | 3,754,666 | 24.0 | 3,527,311 | 24.2 | △227,355 | △6.1 |
| 金融商品取引法関連 | 7,631,972 | 48.7 | 6,791,473 | 46.5 | △840,498 | △11.0 |
| ＩＲ等 | 4,267,307 | 27.3 | 4,283,757 | 29.3 | 16,450 | 0.4 |
| 合計 | 15,653,946 | 100.0 | 14,602,542 | 100.0 | △1,051,404 | △6.7 |

**②　第３四半期の季節性**

当社グループの売上の約75%を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が３月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第１四半期に集中します。このため、例年、下表のとおり第１四半期（４－６月期）の売上が年度全体の４割を超え、第３四半期（10－12月期）は第１四半期の半分程度にとどまります。

（参考）平成23年３月期

| | 第１四半期（４－６月期） | 第２四半期（７－９月期） | 第３四半期（10－12月期） | 第４四半期（１－３月期） | 年度計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高　（百万円） | 8,281 | 3,293 | 4,078 | 3,349 | 19,003 |
| 構成比　（%） | 43.6 | 17.3 | 21.5 | 17.6 | 100.0 |

**４） 利益の概況**

当社グループは、中期経営計画2011の３重点戦略のひとつである「徹底した製造コストの削減」を全社的に推進しておりますが、当第３四半期において計画以上の進展がありました。内製率の向上、購買コストダウンの推進、各種生産性向上施策の推進等により、売上高の減少幅を上回るコスト削減を実現し、売上原価率は前年同期の61.7%から57.5%に4.2ポイント低下しました。

販管費についても、経費削減を推進し前年同期比84百万円減の4,118百万円に抑制しました。この結果、営業利益は前年同期比293百万円増（同16.3%増）の2,087百万円となり、営業利益率は前年同期の11.5%から14.3%に2.8ポイント上昇しました。営業外収益86百万円と営業外費用99百万円を加減し、経常利益は前年同期比279百万円増（同15.5%増）の2,075百万円となりました。

また前年同期は、厚生年金基金からの脱退や、収用に伴う工場移転等により多額の特別損失と特別利益が発生しましたが、当第３四半期はそうした特殊要因がなく、税金等調整前四半期純利益は、経常利益に特別損失10百万円を差し引き、前年同期比178百万円増（同9.5%増）の2,064百万円となりました。四半期純利益については、税制改正に伴う繰延税金負債の減少により、税金費用が減少することの影響も加わり、前年同期比408百万円増（同45.7%増）の1,301百万円となりました。

**（２）連結財政状態に関する定性的情報**

当第３四半期末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ679百万円増加し28,032百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加2,140百万円等です。

当第３四半期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し5,888百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加200百万円、前受収益（流動負債「その他」）の増加188百万円及び長期借入金の減少375百万円等です。

当第３四半期末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ671百万円増加し22,144百万円となりました。主な要因は、四半期純利益1,301百万円計上による増加と剰余金の配当による減少637百万円等です。この結果、自己資本比率は、78.5%となりました。

**（３）連結業績予想に関する定性的情報**

＜当期の見通し＞

平成24年３月期の売上高は、上場会社数の減少や競争激化の影響等により、昨年５月９日の平成23年３月期決算発表時に開示した平成24年３月期の連結業績予想を下回る見通しです。一方、営業利益、経常利益、当期純利益は、計画を上回るコスト削減の成果等により、予想を上回る見通しです。これに伴い、平成24年３月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年1月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,380,830 | 9,521,637 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,551,506 | 1,814,006 |
| 有価証券 | 3,401,645 | 4,241,922 |
| 仕掛品 | 216,521 | 206,728 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,744 | 5,951 |
| その他 | 1,519,043 | 419,280 |
| 貸倒引当金 | △8,675 | △10,059 |
| 流動資産合計 | 14,067,617 | 16,199,466 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,980,547 | 1,866,270 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 754,321 | 678,943 |
| 土地 | 3,887,672 | 3,887,672 |
| その他（純額） | 220,918 | 156,019 |
| 有形固定資産合計 | 6,843,459 | 6,588,905 |
| 無形固定資産 | 1,234,917 | 1,265,108 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,728,193 | 2,572,636 |
| その他 | 1,506,568 | 1,433,799 |
| 貸倒引当金 | △27,741 | △26,982 |
| 投資その他の資産合計 | 5,207,020 | 3,979,453 |
| 固定資産合計 | 13,285,397 | 11,833,467 |
| 資産合計 | 27,353,015 | 28,032,934 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 442,694 | 414,509 |
| 短期借入金 | 505,000 | 705,000 |
| 未払法人税等 | 29,262 | 59,850 |
| 賞与引当金 | 449,249 | 215,541 |
| その他 | 950,548 | 1,467,680 |
| 流動負債合計 | 2,376,754 | 2,862,582 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,125,000 | 750,000 |
| 退職給付引当金 | 837,266 | 869,929 |
| 役員退職慰労引当金 | 36,358 | 41,083 |
| その他 | 1,504,122 | 1,364,674 |
| 固定負債合計 | 3,502,747 | 3,025,687 |
| 負債合計 | 5,879,501 | 5,888,269 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,058,650 | 3,058,650 |
| 資本剰余金 | 4,683,596 | 4,683,596 |
| 利益剰余金 | 16,501,558 | 17,165,415 |
| 自己株式 | △2,918,101 | △2,918,157 |
| 株主資本合計 | 21,325,703 | 21,989,504 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,864 | 27,724 |
| その他の包括利益累計額合計 | 42,864 | 27,724 |
| 少数株主持分 | 104,945 | 127,436 |
| 純資産合計 | 21,473,513 | 22,144,664 |
| 負債純資産合計 | 27,353,015 | 28,032,934 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 15,653,946 | 14,602,542 |
| 売上原価 | 9,656,385 | 8,396,583 |
| 売上総利益 | 5,997,561 | 6,205,958 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,203,063 | 4,118,454 |
| 営業利益 | 1,794,497 | 2,087,504 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22,822 | 7,390 |
| 受取配当金 | 14,806 | 14,644 |
| 設備賃貸料 | 5,093 | 27,450 |
| その他 | 71,105 | 37,183 |
| 営業外収益合計 | 113,828 | 86,669 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 23,328 | 21,166 |
| 投資事業組合運用損 | 81,876 | 65,609 |
| その他 | 7,229 | 12,344 |
| 営業外費用合計 | 112,435 | 99,120 |
| 経常利益 | 1,795,890 | 2,075,053 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 16,344 | － |
| 固定資産売却益 | 16,898 | － |
| 収用補償金 | 3,629,524 | － |
| 特別利益合計 | 3,662,766 | － |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 131,783 | 10,833 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 36,106 | － |
| 厚生年金基金脱退拠出金 | 2,251,608 | － |
| 減損損失 | 963,599 | － |
| 工場再編費用 | 190,144 | － |
| 特別損失合計 | 3,573,241 | 10,833 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,885,415 | 2,064,220 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,356 | 61,814 |
| 法人税等調整額 | 892,250 | 678,106 |
| 法人税等合計 | 966,607 | 739,920 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 918,807 | 1,324,299 |
| 少数株主利益 | 25,295 | 22,490 |
| 四半期純利益 | 893,512 | 1,301,808 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 918,807 | 1,324,299 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △37,045 | △15,139 |
| その他の包括利益合計 | △37,045 | △15,139 |
| 四半期包括利益 | 881,762 | 1,309,159 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 856,466 | 1,286,668 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 25,295 | 22,490 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。